

平成29年度教育研究活動報告書

氏名	市川 彰	所属	芸術文化学部美術学科
学位	修士	職位	准教授
専門分野	日本美術史、博物館学		
I 教育活動			
本年度担当科目			
	授業科目		
学部	日本美術史 日本美術史Ⅰ 日本美術史Ⅱ 博物館資料論 博物館資料保存論 博物館展示論 博物館経営論 博物館実習Ⅰ 博物館実習Ⅱ 美術表現入門		
大学院	美術史特講（日本）		
II 研究活動			
これまでの主な研究業績（5件まで）			
〈著書〉〈展覧会〉〈論文〉〈翻訳〉〈学会発表〉〈学術表彰〉〈その他〉			
（1）〈論文〉若冲画に示されたもの-「動植線絵」以前の三件の鶴を主題とする着色表現をめぐって-、『研究紀要』第20号、京都大学文学部美学美術史学研究室、1999			
（2）〈論文〉若冲画に示されたもの2-《初期作品》「雪梅雄鶏図」をめぐって-、京都文化博物館紀要『朱雀』第19集、2007			
（3）〈論文〉若冲の《最初期の着色画》、「雪中雄鶏図」をめぐって、「美術に関する調査研究の助成」研究報告、鹿島美術財団、2002			
（4）〈その他〉『都林泉名勝図会』に記された「名宝」、京都文化博物館紀要『朱雀』第20集、2008			
（5）〈その他〉狩野永敬筆「十二月歌意図屏風」について～平成21年度修繕報告を兼ねて～、京都文化博物館紀要『朱雀』第23集、2011			
本年度を含む過去3年間の研究業績			
〈著書〉〈展覧会〉〈論文〉〈翻訳〉〈学会発表〉〈学術表彰〉〈その他〉			
（1）〈その他〉名所図会に記された京都の「名宝」（三）-『都名所図会』巻之四～巻之六-、尾道市立大学芸術文化学部紀要第15号、2016			
（2）〈その他〉若冲の研目描きと京都、「MODERN KYOTO CERAMIC 2016 京焼今展 若冲」図録、京・焼・今・展 実行委員会、2016			
（3）〈その他〉名所図会に記された京都の「名宝」（四）-『拾遺都名所図会』巻之一-、尾道市立大学芸術文化学部紀要第16号、2017			
（4）〈その他〉名所図会に記された京都の「名宝」（五）-『拾遺都名所図会』巻之二-、尾道市立大学芸術文化学部紀要第17号、2018			
現在の研究テーマ（3つまで）			
（1）18世紀京都画壇の研究			
（2）名所図会に記された京都の名宝に関する研究			